

わくわく交流会2012 2012.01.29
一般参加者アンケート集計結果

回答数:	42
------	----

性別	
(1)女性	23 名
(2)男性	19 名
年代	
(1)30歳未満	1 名
(2)30歳代	5 名
(3)40歳代	7 名
(4)50歳代	1 名
(5)60歳代	13 名
(6)70歳以上	10 名
無記入	5 名

【問1】全体をとおして、感想はいかがですか？

(1)大変よかった	14 名
(2)よかった	26 名
(3)あまりよくなかった	1 名
(4)よくなかった	0 名
無記入	1 名

■自由回答欄

(よかった。驚いた。勉強になった。等)
安城に幻滅していた私に、安城にこんなことしている人がいる！と刺激をくれました。うれしかった。
協働の意味がわかった。
他グループの活動を知ることができた。
多くの活動を知ることが出来ました。
いろいろ勉強になりました。
地域と密着した活動として発展させる為にどうしたら良いかアイデアをもらえた。
いろいろな意見を聞きよくわかりました。
いろんな活動があることが分かった。
交流はいつも大切だ。
「協働」について理解できた。
いろいろな考えを持った人と議論することができた。
はじめての参加でしたが、いろいろ勉強させていただきました。
多数の市民が出席され多種多様な意見を聞くことができた。
いろんな人がいてとても刺激になりました。
(もっとこうしたら)
井戸端会議にしてはテーマがカタイ。
その人を見たときに、どんなジャンルかぱっと見てわかる様な名札づくりにしてもらおうと名刺交換時アピールしやすい。
もう少し自由さがあってもよいのでは…。
(その他)
「協働」について、何故市民に理解されにくいのでしょうか？
市役所の者も参加されており、そのまじめさ、仕事に生かしてほしい。

【問2】第1部「交流タイム」では、自分の考えを伝えられ、交流できましたか？

(1)よく交流できた	6 名
(2)交流できた	30 名
(3)あまり交流できなかった	6 名
(4)交流できなかった	0 名

■自由回答欄

(よかった。驚いた。勉強になった。等)
新しい団体名、内容を知ることができました。
行政にまかせることなく、住みよい安城を作ろうとしている人がいるとわかったから。
自分のグループ内での発言が理解され、相手の意見も聞けた。
グループの説明ができた。
自分の伝えたいことがうまく行きたわってよかった。
話すことが下手でしたが、言葉で引き出していただき話せました。
記入カードが具体的でわかりやすい区分だったので発言しやすかった。
リーダーの方のリードによって自分の思いを少しであるけど発言できた。
(あまり交流できなかった)
時間が過ぎてから参加され、時間配分が最後つまりぎみのところがあった。
発表時間が一寸短かった。
タイトすぎてしっかり話せなかった。交流紹介カードは事前に考えておきたかった。
自分の方から飛び込んで話すことができなかった。
メンバーがなれてきた頃にメンバーチェンジだった。
2テーブルだけだったので、もう少し多く交流したかったです。テーブルリーダー(?)さんがもう少し平等に時間や意見の伺いなど配慮してほしいと思いました。
(その他)
初めての参加でしたので、どうだったかは少し不安です。

【問3】第2部「協働タイム」では、協働について理解することができましたか？

(1)よく理解できた	9 名
(2)理解できた	26 名
(3)あまり理解できなかった	4 名
(4)理解できなかった	0 名
無記入	3 名

■自由回答欄

(理解できた)
最初はあまりわかりませんでしたが、少しずつ理解が深まってきました。ありがとうございました。
協働の名前は知っていたが理解できなくて、今回の勉強会で自分なりに解ってきたと思います。
資料が多かったのですが、後の話し合いでよく分かりました。
地域の課題を解決する為に協働する事の必要性を理解できた。
実践者が多く、定着していることを実感した。
(難しかった)
むずかしかった。(思いがいっぱいあってまとめること)
「協働」の意味がわからなかった。イメージはわかっているのに何かわからない。
難しいことだと思いますが、これからも学んで行きたいと思います。
協働といわれることで難しくなる。多くの人は日常的に協働活動している。
(その他)
どんな風に協働(コラボ?)できるのか、見えにくいと感じた人がグループの中にいたような…その人静かになっちゃったから。
今日参加してよかった。
いろいろな分野の人が集まって意見を出し合うことが、もう協働の第一歩ではと思います。
声かけの必要性。
防災に対する意識を高めたい。
活動をいきたものにするためには、まず人とのつながりを大切にする。
全員の話を聞くことができ、全員の意見をまとめることができた。
野菜とドレッシングはそれぞれの役割を果たすべき。野菜にドレッシングの役はできないと思います。
同じ意見をもつ方をいかにして見つけだすか。
自分たちの団体の中だけにこだわらず外に向けて活動したい。

【問4】印象に残る話から感じた、今日の気づき、持ち帰りたい想いをお聞かせ下さい。

（石川さんの話がよかった！）

石川さんの盆栽の話が大変良かったで～す。

閉会の石川さんの話し、とてもよかった。

（コラボが重要！）

各グループそれぞれの活動の方法、横のつながりを持つ機会を得ることが出来た。

別領域の団体とのコラボレーション視野が広がることにつながって有効だと思った。

別団体とのコラボ、何ができるか考えてみたい。

サラダのように協働が楽しく参画できること。

（これから頑張ろう！と思った）

団体に帰ってよく説明します。（PR）

自分の持ち得る知識を活かせる場所を探していきたい。協働について考え方（発想）の狭さを実感した。

安城、南吉カフェでアイデアメニューを考案したい。

自分たちの活動を見直し、そして協働していける様にしたいと思いました。

自分の時間を住みよい安城市にする為にもう少し使えるといいなと思った。

協働に関する指針の実施のお願いと、自分たちが協力したい。

（なるほど！）

協働は「仲良く」がキーワード。幸せを感じる市民が増えると、その市は住みやすい市になる。それに気がついた人が増えると、安城はいい市になるのでは。

協働タイム全体共有6班の発表。サラダの「ドレッシング」のえらびかたによって、まとまるか、出来がちがうーなるほど。「あなたの助けが必要です」この呼びかけが大事ーなるほど。って思いました。

寄付いただいたら成果なり結果なりをいただいた方に報告感謝が必要。

町内で手話を広めて、ハンデー者も町内会の行事に参加できるよう工夫した事、感動しました。

やはり情報の共有が大切。

共助と共生の理念をいかに進化させていくか。

市民が動くことが協働の基本。（スタート）

防災から健常者である自分のことしか考えていない自分に気づいた。障害者（要介護者、難聴、視覚障害者等）への対応。

協働コーディネーターという言葉をはじめて知りました。大切なことだと思った。

（その他）

いろいろな人とお話しができていい時間でした。

ボランティア精神豊かな方ばかりで驚きました。

【問5】今後、このような交流の機会や協働促進のためのイベント実施、施策についてのアイデアなどをお聞かせ下さい。

(よかった。驚いた。勉強になった。等)

あんねっとさんおつかれさまでした。

地域活動を進めるにあたって勉強になった。

是非くり返し実施してください。

イベントの肝をスタッフが共有していることが大切だと思いました。

またネ！！

途中からの参加でしたが班の方がとっても良く良かったです。単発イベントで予定があえば何かに参加したいです。

そこかしこで化学反応が起きているのが素晴らしかった。

(もっとこうしたら)

アイスブレイクをより良く楽しめればいい。

企業からお金をもらうだけではなく、お礼の手紙を出し企業がお金を出しやすい環境のお手伝いをする。

名刺交換は各テーブルについた時にした方がスムーズかも。休憩と同時だと大変かと感じました。

市民活動団体の催し物について情報を緻密化できることを期待します。

活動団体との交流を進めるには？市民活動センターの存在(役割も)をPRしてほしい。

終了時間を守ってほしい。

NPOボランティア団体の活動の場を行政社協わくわくでPRして頂きたい。

時間厳守をお願いします。

もっと広く深く交流の機会を。(協働促進の為)

安城市民へ。市民活動団体がどんな活動をしているのかPRできる場をもっと活発にしていける事が大切だと思います。

(その他)

わくわくセンターに来れば、こういう情報はえられるのかな？

合同イベントはやめに。

まとめることに必死になってしまい、もうちょっと意見をだせたらよかったなあ…。